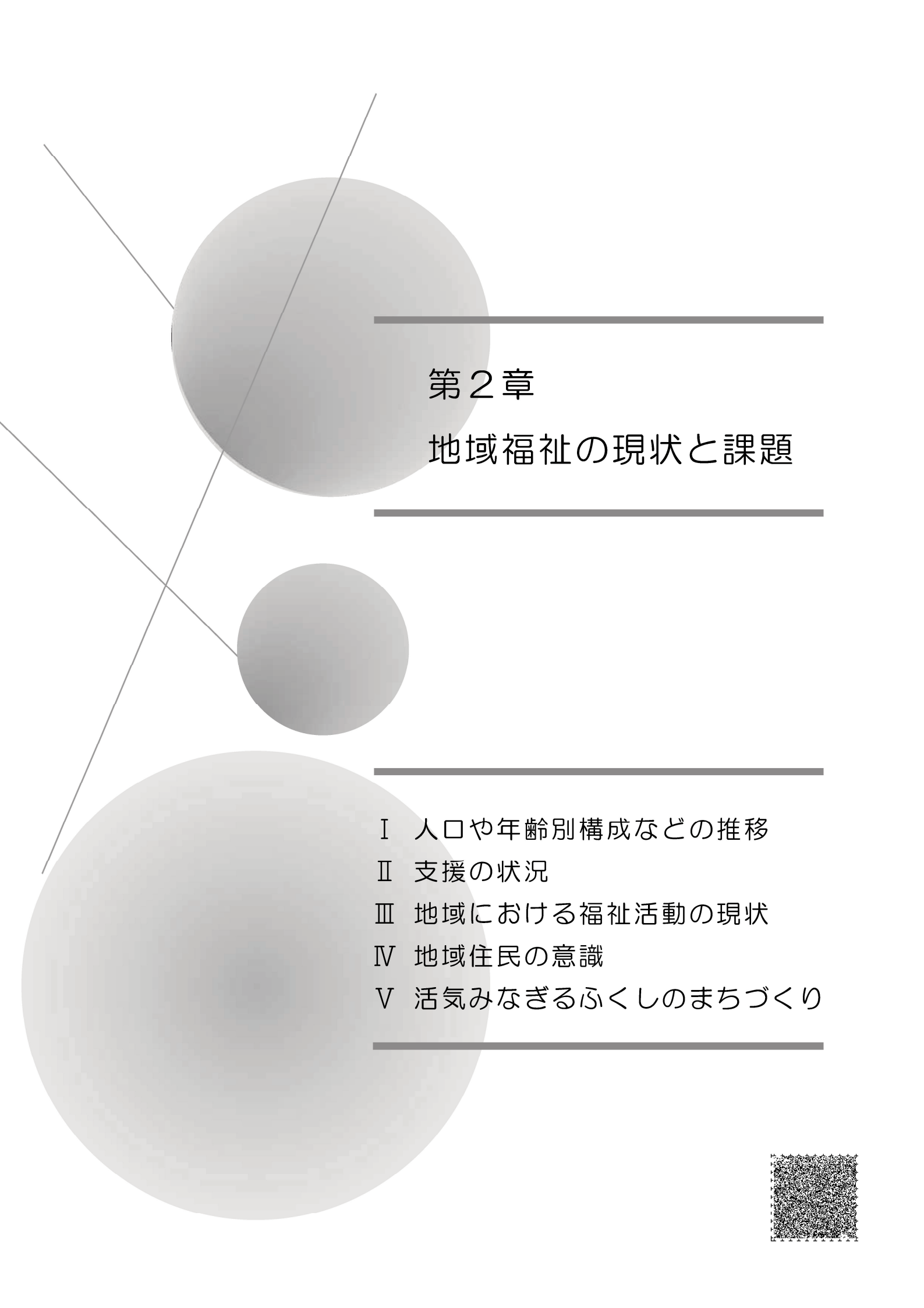
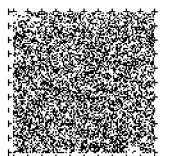


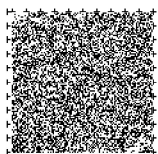


第2章

地域福祉の現状と課題

- I 人口や年齢別構成などの推移
- II 支援の状況
- III 地域における福祉活動の現状
- IV 地域住民の意識
- V 活みなぎるふくしのまちづくり

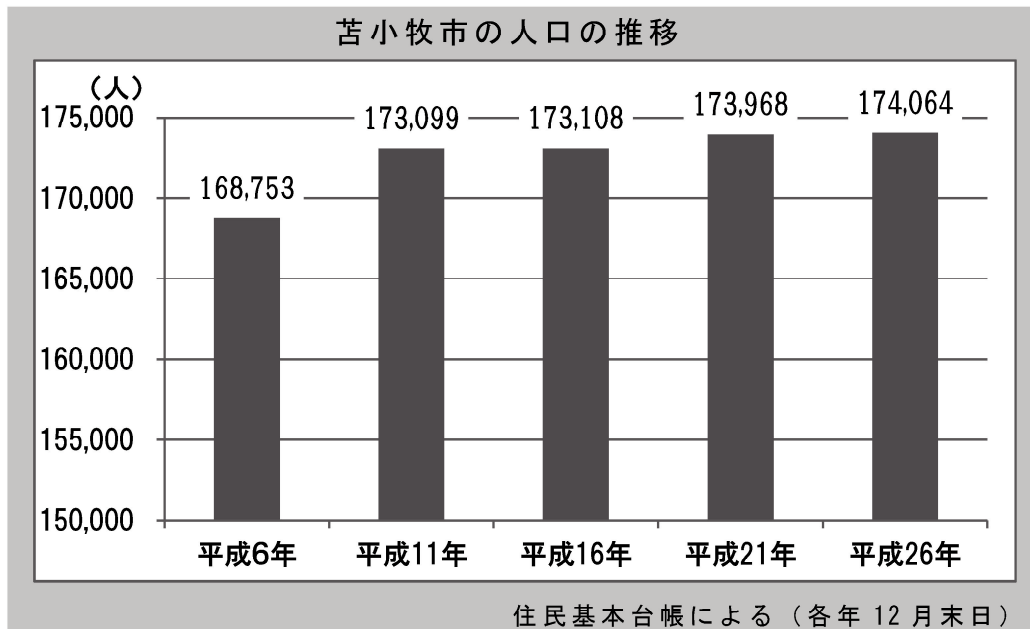




I 人口や年齢別構成などの推移

(1) 人口の推移と道内他市の状況

苫小牧市の人口は、住民基本台帳によると平成26年12月末日現在で174,064人と緩やかな増加となっています。



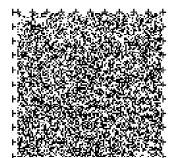
道内主要10市の人口動態では、対前年比人口が増となる市は札幌市や千歳市だけであり、全道的にも人口は減少傾向にあるといえます。

人口動態 道内主要10市との比較（平成26年12月末）

単位：人

道内市	人口	自然動態			社会動態			職権等	対前年 比人口
	総数	増加数	出生	死亡	増加数	転入	転出	増加数	
札幌市	1,936,016	▲3,060	14,622	17,682	9,144	124,469	115,325	▲564	5,520
函館市	271,479	▲2,003	1,617	3,620	▲1,099	9,296	10,395	96	▲3,006
小樽市	125,028	▲1,216	623	1,839	▲969	3,470	4,439	▲11	▲2,196
旭川市	347,207	▲1,634	2,360	3,994	▲312	11,205	11,517	96	▲1,850
釧路市	178,394	▲884	1,158	2,042	▲880	6,302	7,182	▲2	▲1,766
帯広市	168,753	▲311	1,321	1,632	▲46	7,734	7,780	6	▲351
北見市	122,198	▲681	789	1,470	▲547	4,225	4,772	25	▲1,203
苫小牧市	174,064	▲192	1,460	1,652	▲205	5,958	6,163	▲8	▲405
江別市	120,225	▲436	655	1,091	▲120	4,776	4,896	▲24	▲580
千歳市	95,532	251	920	669	▲221	5,601	5,822	21	51

北海道総合政策部地域行政局 公表値



(2) 地域別の人口割合

地域別の人口では、東部地域と西部地域で年齢層の分布割合に大きな偏りがみられます。西部地域に高齢化傾向が強くみられ、東部地域に年少人口と生産年齢人口が偏っていることが顕著にわかります。

平成26年12月末の人口分布

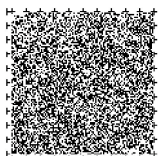
単位：人

圏域	総数	年少人口 0～14歳	生産年齢人口 15～64歳	高齢者人口 65歳以上	平均年齢 (歳)
西部西地区	25,543	2,917 (11.4%)	15,307 (59.9%)	7,319 (28.7%)	48.2
西部東地区	21,877	2,450 (11.2%)	13,217 (60.4%)	6,210 (28.4%)	48.1
中央部北西地区	22,620	2,314 (10.2%)	13,303 (58.2%)	7,003 (31.0%)	50.4
中央部南西地区	18,815	2,217 (11.8%)	10,960 (58.3%)	5,638 (30.0%)	48.2
中央部地区	22,103	2,483 (11.2%)	13,941 (63.1%)	5,679 (25.7%)	47.9
中央部東地区	29,086	3,682 (12.7%)	18,967 (65.2%)	6,437 (22.1%)	44.3
東部地区	34,020	6,976 (50.7%)	22,505 (66.2%)	4,539 (13.3%)	39.4
合計	174,064	23,039	108,200	42,825	45.2

住民基本台帳による

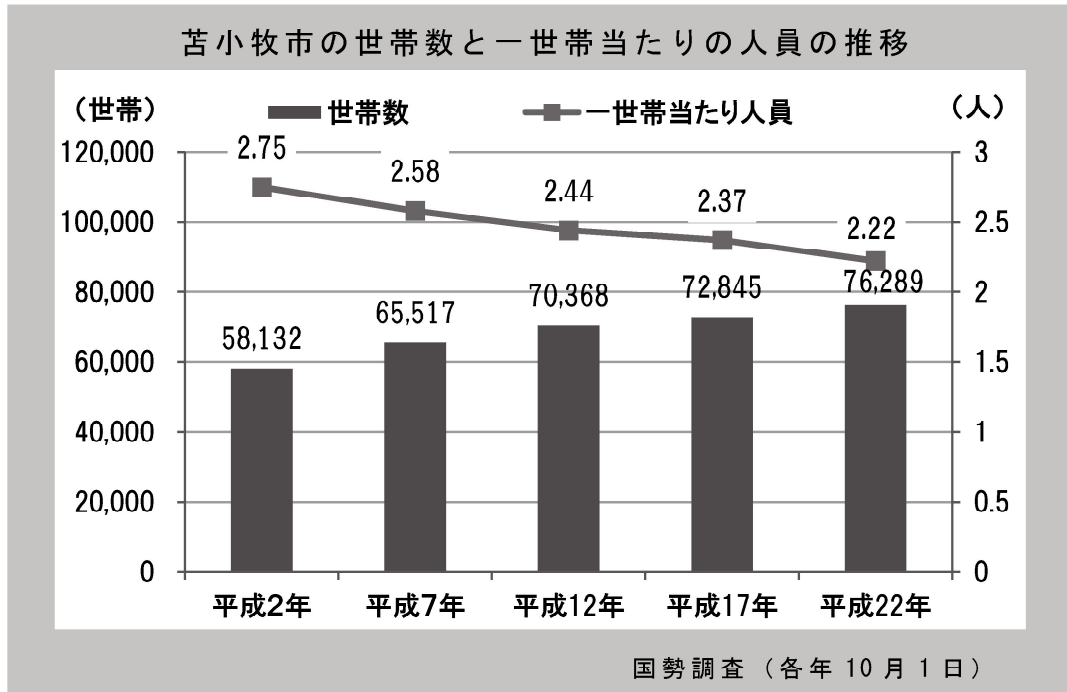
<参考> 日常生活圏域と該当町名

圏域	地区
西部西地区	澄川町・青雲町・字樽前・ときわ町・字錦岡・のぞみ町・美原町・宮前町・明徳町・もえぎ町
西部東地区	字糸井(287-446)・柏木町・川沿町・桜坂町・しらかば町・日新町・はまなす町・宮の森町
中央部北西地区	有珠の沢町・啓北町・桜木町・字高丘(55.56.60)・豊川町・花園町・北光町・松風町・見山町・山手町
中央部南西地区	青葉町・有明町・字糸井(287-446除く)・永福町・小糸井町・光洋町・白金町・新富町・大成町・浜町・日吉町・元町・矢代町・弥生町
中央部地区	旭町・一本松町・入船町・王子町・大町・表町・春日町・木場町・寿町・幸町・栄町・汐見町・清水町・新中野町・末広町・高砂町・錦町・晴海町・船見町・本幸町・本町・緑町・港町・元中野町・若草町
中央部東地区	明野新町・泉町・音羽町・三光町・新明町・住吉町・字高丘(55.56.60除く)・日の出町・双葉町・字丸山・美園町・柳町
東部地区	明野元町・あけぼの町・字植苗・字柏原・新開町・拓勇西町・拓勇東町・東開町・字沼ノ端・沼ノ端中央・北栄町・字美沢・字勇払・ウトナイ北・ウトナイ南



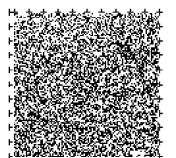
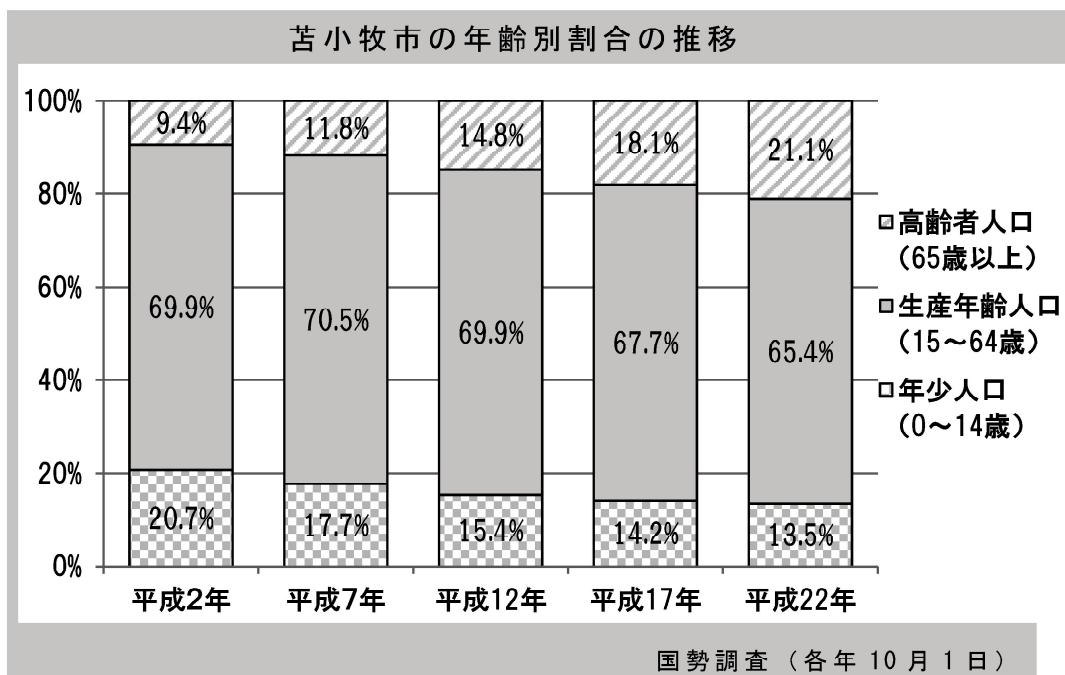
(3) 世帯数と世帯当たり人員

平成22年の世帯数は76,289世帯であり平成17年に比べて3,444世帯増加していますが、1世帯当たりの人員は低下し、核家族世帯や一人暮らし世帯が増えていることがわかります。



(4) 人口の年齢別構成の推移

人口の年齢3区分別割合では、年々、年少人口（0～14歳）が減少し、高齢者人口（65歳以上）が大幅に増加となっており、本市においても少子高齢化が進んでいることがわかります。



(5) 高齢化率の推移

近年の住民基本台帳による本市の人口動態は、平成25年12月末に174,469人と最多人口を更新したのち、平成26年には減少となりました。

一方、高齢者人口の割合（高齢化率）は年々増えています。

全国平均や全道平均と比較すると本市の高齢者人口の割合は低くなっていますが、高齢化社会が進んでいることが伺えます。

苫小牧市の年齢別人口の推移

単位：人

年度	人 口				高齢化率
	総数	年少人口 0～14歳	生産年齢人口 15～64歳	高齢者人口 65歳以上	
平成23年	174,219	23,547	113,369	37,303	21.4%
平成24年	174,439	23,326	112,110	39,003	22.4%
平成25年	174,469	23,217	110,457	40,795	23.4%
平成26年	174,064	23,039	108,200	42,825	24.6%

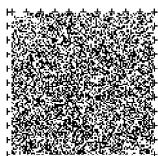
各年12月末人口（住民基本台帳による）

人口動態 道内主要10市との比較（平成26年12月末）

単位：人

市	人 口				高齢化率
	総数	年少人口 0～14歳	生産年齢人口 15～64歳	高齢者人口 65歳以上	
札幌市	1,936,016	225,125	1,250,056	460,835	23.8%
函館市	271,479	28,185	159,084	84,210	31.0%
小樽市	125,028	11,705	68,463	44,860	35.9%
旭川市	347,207	39,942	204,856	102,409	29.5%
釧路市	178,394	20,371	106,466	51,557	28.9%
帯広市	168,753	20,777	104,959	43,017	25.5%
北見市	122,198	14,118	72,760	35,320	28.9%
苫小牧市	174,064	23,039	108,200	42,825	24.6%
江別市	120,225	13,805	74,580	31,840	26.5%
千歳市	95,532	13,746	62,506	19,280	20.2%

北海道総合政策部地域行政局 公表値



Ⅱ 支援の状況

(1) 生活保護の動向

苫小牧市の保護率は全道全国に比べて高くなっています。

生活保護率の推移（年度平均）

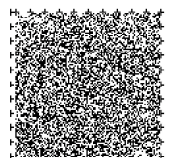
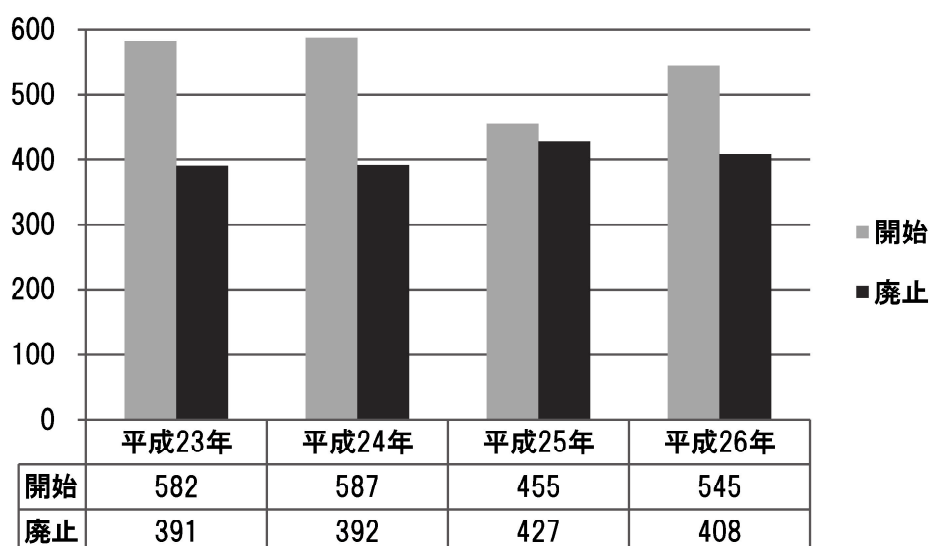
年度	保護世帯 月平均(人)	保護人員 月平均(人)	保護率(%)		
			苫小牧市	全道	全国
平成23年	3,805	5,453	31.4	30.8	16.5
平成24年	4,015	5,730	32.9	31.7	17.0
平成25年	4,127	5,857	33.6	31.8	17.1
平成26年	4,191	5,913	34.0	31.6	17.1

保護率は、年度保護人員の住民基本台帳人口に対する割合

（市は年度平均（停止含まず）、道・国は3月末）

(2) 生活保護の開始・廃止の状況

苫小牧市の生活保護の開始・廃止状況（世帯数の推移）



Ⅲ 地域における福祉活動の現状

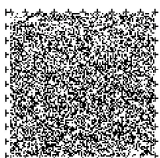
(1) 苫小牧市社会福祉協議会

苫小牧市社会福祉協議会は、昭和27年（1952年）に本市の社会福祉事業関係者と地域住民が協力して地域の福祉増進を図ることを目的に設立されました。昭和43年（1968年）には、社会福祉法人の認可を受け、地域福祉の中核として各種福祉事業を実施しています。

苫小牧市社会福祉協議会は、関係機関や市と連携しながら相談機能の強化を図るとともに、独自事業として「ふれあいサロン事業」を実施するなど事業推進の基盤づくりに努めるほか、災害ボランティアセンターの整備として災害が発生した場合に備え、防災士の育成等に取り組むなど、昨今の社会情勢や地域のニーズに合わせ、地域に密着した福祉活動を展開しています。

【主な事業内容】

○社協だよりの発行	○献血推進事業
○生活福祉資金等の貸付事業	○ボランティアセンターの運営
○市民相談所の運営	○ボランティア活動支援事業
○高齢者給食サービス事業	○介護支援いきいきポイント事業
○介護保険サービス事業	○雪かきボランティア事業
○ふれあいサロン事業	○日常生活自立支援事業
○福祉人材バンク事業	○法人後見事業
○在宅介護者リフレッシュ事業	○あんしん生活サポート事業
○愛の一声運動事業	○障がい者自立支援事業
○災害被災者救護事業	○生活困窮者等援護事業
○無縁仏供養法要	



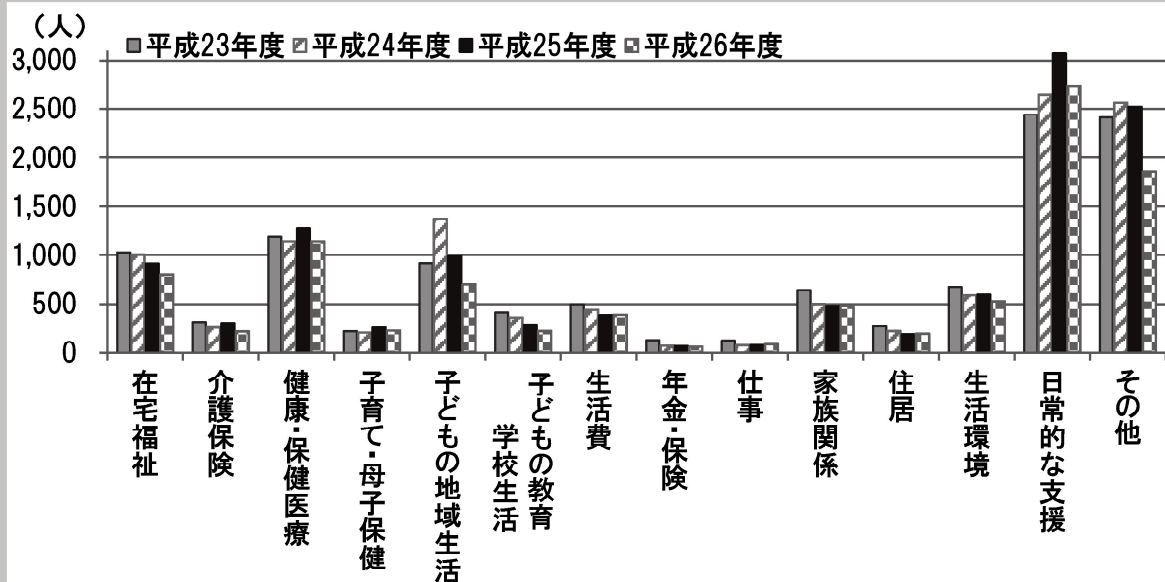
(2) 民生委員・児童委員

民生委員・児童委員は、地域住民の相談を受け、行政機関などに連絡・協力し、必要に応じて支援活動を行っている地域のボランティアです。

本市では、厚生労働大臣から委嘱された358人の民生委員・児童委員が、19地区の地区民生委員・児童委員協議会を組織して活動しています。

また、主任児童委員は、児童問題を専門的に担当するために各地区に2人ずつ配置されています。専門的な知識向上のため、高齢者や児童のほか、多岐の分野にわたり随時研修を行っています。

民生委員・児童委員の活動状況



民生委員・児童委員その他の活動内容

